

令和6年度 南区特色ある区づくり予算 委員提案一覧
(区役所企画事業)

番号	区分 (企画・提案)	事業名	提案委員名	担当課 担当部会	事業概要	対応
1	企画	市街地循環バス「ぐるりん号」の利用促進	高橋 文子	地域総務課 第1部会	<p>【目的】 ぐるりん号の利用促進</p> <p>【内容】 保育園児が循環バス「ぐるりん号」の車内アナウンスを元気な声で放送することで地域の公共交通として市民の方からの愛着を深め、より一層の利用促進を図る。(柏崎市で実施している)</p>	<p>【区バス乗車促進事業で実施する】</p> <p>南区循環バス「ぐるりん号」の保育園児による車内アナウンス対応は、地域公共交通の愛着向上や利用促進に向けて、保育園児から小中高生といった地域若年層を対象可能か幅広く検討しながら、「区バス乗車促進事業」に取り入れていきたいと考えています。</p>
2	企画	南区唯一の県立高校の魅力をアピールしよう	織田 絹子	地域総務課 第2部会	<p>【目的】 再び存続の危機に直面している白根高校を、進学先として生徒や保護者から選んでもらえる高校になるよう魅力を多方面からアピールする。</p> <p>【内容】 「自分を創っていける場所」という白根高校の良さをアピール。 アピール案 ・広いグラウンド、軟式テニスコート、広い体育館、吹奏楽部の楽器類など施設面のアピール ・地域の支援、応援が生徒の成長に大きく貢献 ・小規模校の良さ、生徒へのきめ細かな指導 ・生徒ひとりひとりを地域と学校双方で大切に教育</p>	<p>【白根高校とのまちづくり連携事業で実施する】</p> <p>南区と白根高校は、令和4年3月に地域の発展と次世代を担う人材を育成するため、連携・協力に関する協定を締結しました。 また、今年3月には南区で活躍する若手民間事業者からなる「にいがた南区創生会議」からも連携協定を締結していただきました。 今年度は、白根高校とのまちづくり連携を推進していくため、区地域総務課が事務局となり、白根高校・地域団体・行政のネットワークづくりを強化しています。 今後も、相互の密接な連携と協力のもと、白根高校の魅力アップに取り組んでいきたいと考えています。</p>
3	企画	高齢社会の進展に伴う自治会機能の低下に係る調査・課題の把握・その対策	山田久美子	地域総務課 第2部会	<p>【目的】 高齢化の進展により、数年後には限界集落化する自治会も出てくるのではないかと懸念される中、自治会機能の低下は喫緊の課題である。現状を把握し、課題を明確にしたうえで必要な対策を講じる。</p> <p>【内容】 現在住んでいる自治会の高齢者が顕著である。自宅周辺の十数軒を見るに70代夫婦の世帯、80代の親と50代を越えた独身の子供の世帯、50代以上の独身世帯が並び、空き家も目立つ。子供の数も少なく、「10年たったら、この辺はどうなるのか」と誰もが口にしており、このままでは自治会の維持も難しくなるだろう。 自助がおぼつかなくなった時には共助すら機能しなくなり、頼みの公助との懸け橋になるはずの自治会すら機能不全に陥るのではと心配になる。まず実態はどうなのか、少なくとも自治会役員は何を課題と考え、どのような対策を望んでいるのか、区として把握する必要があるのではないか。</p>	<p>【市民協働課の事業で実施する】</p> <p>人口減少や高齢化を背景に、活動の担い手が不足しており、地域の人材育成や活動内容・運営体制の見直しなどの対策が重要であります。 今年度は、本庁所管課である市民協働課において、自治会・町内会運営の効率化に向けた状況調査を予定しています。 今後、区としても調査結果を共有し、市民協働課と連携して取り組んでいきたいと考えています。</p>
4	企画	高齢者向け健康づくりのための水道公園環境整備事業	高橋 直廣	建設課 (健康福祉課) 第1部会	<p>【目的】 少子化により利用されない公園を高齢者向けのウォーキングや運動が楽しめ、憩える公園に整備して、公園の利用促進、健康づくりの啓発実践と公園環境保全グループの組織化で市民との協働のまちづくりを目指す。</p> <p>【内容】 水道公園の外周300mの園路(ウォーキングコース)を既存のベンチを結んで整備する。中ノ口川副堤取り付け堤防か所に階段を設け、旧配水塔、白根庭園を結び、ウォーキングが出来る憩いのエリアとして整備する。 健康遊具を配置して高齢者の健康づくりと交流の場として啓発する。この公園を拠点に健康づくりを行う高齢者のそしきかを図り、公園の利用促進とウォーキングや健康遊具を楽しむながら健康増進と公園環境保全を行うことで行政と市民との協働のまちづくりを推進する。</p>	<p>【令和7年度以降の事業で検討する】</p> <p>水道公園近くの中ノ口川右岸の凧合戦会場の道路を歩行者専用として整備し、ウォーキングが安心してできる憩いの健康づくりエリアとして活用することを検討しています。 水道公園の整備については、今後、この事業の進捗を見ながら検討していきたいと考えています。</p>
5	提案 ↓ 企画	JR路線を南区に	志賀 康則	地域総務課 第1部会	<p>【目的】 単年度予算にはなじまない、又過去には見て見ぬふりをしていた問題かと思うが、10年、20年先を見て県、JRに打診をする。</p> <p>【内容】 南区の人口減少問題、白根高校生の募集問題、活性化問題等々どれを取っても公共交通機関の問題が底辺にある。バスがいかなる市道にも通って行けばという問題は払拭されることは思うがそれはしない。 まず南区内に鉄道を引くことを誰かが実行するために動く必要がある。</p>	11月の南区自治協議会に提示
6	提案 ↓ 企画	防災	西山 ゆき	地域総務課 第1部会	<p>【目的】 地域の防災リーダー育成と災害時の行政と地域の連携を強める</p> <p>【内容】 各地域で自主防災組織による防災訓練や避難所運営委員会の立ち上げが進んでいるが地域によりその進み方にバラつきがあったり、地域の役員が単年で変わることやコロナ禍などによる社会環境の変化により防災事業の実施に苦労している地域も多い。 定期的に地域の防災リーダーのスキルアップ研修として、避難所運営のモデル訓練(専門家や行政と地域の防災リーダーの合同訓練)があるといい。</p>	